



マスクに、晴れ着の特別な成人式

新型コロナウイルス感染症の拡大により、本来なら1月だった成人式が5月2日に行われました。延期となってもなおコロナ禍で、さまざまな制限の中での開催でした。市では、密集を避けるため分散開催とし、恵那文化センター、恵那北中学校体育館、岩村コミュニティセンター、山岡農村環境改善センター、明智かえでホールの5会場で行いました。

☞ 生涯学習課（内線474）

例のない分散開催、入場制限

感染防止対策を徹底するため、新成人には、2週間前からの体調管理と、前夜祭や二次会の自粛を求めました。会場は市内5カ所。メイン会場の恵那文化センターで式典を進め、その他4カ所のサテライト会場では、メイン会場の様子を映したモニターを見ながら参加しました。各会場では、入場を新成人のみに制限し、会場に入れなかった保護者や参加できなかった新成人などのため、YouTubeとケーブルテレビで、式典の様子をライブ配信しました。例年なら懐かしさで歓声上がる恩師からのビデオメッセージも、ネット上での配信でした。

サプライズ企画も

その代わりに、プログラムにない企画が登場。少しでも一体感を味わってもらおうと、式典開始前には、全新成人が5会場と同時にテープカットを行いました。さらに、式典終了後には、案内ハガキの番号を利用した大抽選会もあり、市内の特選品などが当たりました。記念写真時以外はマスク着用。それでも、久しぶりの再会を喜ぶ姿があちこちに見られ、会場には笑顔があふれました。

みんなの思いを受け止めて

成人式実行委員長 後藤 瞭さん

こんな状況でも、私たちを支えてくれた方々に最大限の感謝を伝えられる式にしたいと思って、準備してきました。実行委員で決めた成人式のテーマは「恩恵」。ふるさと恵那の文字を使いたいという思いと、支えてくれた方へ感謝を伝えたいという思いを合わせたものです。

20年間、僕たちは十人十色の人生を歩んできました。先生、親友、家族、数えきれないほどの方々に力をもらいました。離れていても、ずっと大切な仲間もいます。成人となったこれからは、お世話になったたくさんの方々に、恩を返していきたいです。



▲実行委員の皆さん（後列左から2番目が後藤さん）

本当は出席したかった

大井町 池内菜々子さん

「成人式一緒に行こ！」と友人に誘われましたが、看護学校に通っているのでも、出席できませんでした。動画やインスタでみんなの晴れ姿を見て、出席できなかったむなしさとともに、医療従事者になることの責任を感じました。

本来なら、ワクワクしながら美容院に行って、きれいにメイクしてもらって、地元に戻るはずだったのに。友人と再会して、思い出話で盛り上がるはずだったのに。そんな思いはぬぐえません。

このコロナ禍で医療従事者が犠牲にしていることは、たくさんあると思います。でも、それが報われる日が必ず来ると信じて、自分の夢のため今後も学業に励みます。



▲前撮りの一枚。父や祖父母にも晴れ着姿を見せたかった

成人という節目を迎え、大人としての自覚を持つとともに、医療従事者としても責任ある行動をしなければならぬと思いました。

4月から就職し、社会人としての責任を感じています。自覚ある大人になりたいです。



申原 大島龍興さん

他地区の友人と会えないのは残念。でも一生に一度だから、成人式ができてうれしいです。



明智町 大嶋真由香さん

リモートでも、開催できたことがうれしいです。他人に迷惑を掛けない格好いい大人になります！



笠置町 額綱電矢さん

卒業してからは友人たちと会う機会がなかったので、成人式ができて良かったです。



長島町 市川賢さん

新成人の声